

市議会6月定例会を開催

いわき市議会六月定例会が、六月十三日から二十七日までの十五日間の会期で開催されました。議
会では「いわき市体育施設条例」などの改正のほか、一般・特別会計を合わせて、総額七億八千九百
五十三万七千円に上る補正予算などが審議され、三十三議案が可決・承認・同意されました。

市長からの行政報告

○東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成などの取り組みについて

清水市長は、同大会の公認文化オリンピックアードである「東京キヤラバン in いわき」を五月に開催し、本市の伝統芸能を行う団体な



アロハシャツ着用で行われた同定例会

どと全国的に活躍するアーティストらの共演により、新たな芸術の世界が創り出され、多くの来場者を魅了したことを報告しました。同大会に関連した事業を通じて、機運醸成を図るとともに、大会後に続いていく本市の有形・無形のレガシーを創出できるよう、さまざまな取り組みを進めていくと述べました。

○共創型地域交通モデル事業について

中山間地域を中心とした公共交通空白地域等における高齢者などの交通弱者の移動手段を確保することを目的に、三和・田人地区の各地域振興協議会と「住民ボランティア輸送に関するパートナーシップ協定」を締結し、住民の支え合いによるボランティア輸送の運

行を開始したことを報告しました。住民ボランティア輸送が地域に根付き、持続可能な運行が図られるよう、地域と一体となった取り組みを進めていくと述べました。

主な議案

○いわき市体育施設条例の改正について

総合体育館について、利用者の安全性や快適な利用環境を確保するため、空調設備の整備および照明などを改修することに伴い、使用料の額を改めるほか、利用者の利便性の向上を図る観点から、施設の使用区分を変更するため、所要の改正を行いました。

○いわき市国民健康保険税条例等の改正について

地方税法施行令等の一部



改修が行われている総合体育館

を改正する政令が本年四月一日に施行されたことなどに伴い、賦課限度額および軽減基準の改正など、所要の改正を行いました。詳しくは、六・七ページをご覧ください。

○固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて

・木下公生（新任）

○川部財産区管理委員選任の同意を求めることについて

・園部進（再任）
・蛭田利一（再任）

○磐崎財産区管理委員選任の同意を求めることについて

・高木良一（新任）
・川崎君平（新任）
・磯上正巳（再任）
・富岡功（新任）
・菅野嘉晴（新任）

○川前財産区管理委員選任の同意を求めることについて

・赤塚一夫（新任）

主な補正予算

- ▶民間社会福祉施設（障がい者施設）建設補助金＝3億2,649万6千円
- ▶公立保育所整備事業費＝2億4,150万7千円
- ▶U I Jターン支援事業費＝2,052万6千円
- ▶風力関連産業推進事業費＝1,358万9千円



サモア独立国ラグビー代表チームの事前キャンプ受け入れを実施



本年9月から開催されるラグビー国際大会に、本市のホストタウン相手国であるサモア独立国ラグビー代表チーム「マヌ・サモア」が出場するため、本市で事前キャンプを実施します。期間中に選手との交流事業などを行いますので、皆さんもぜひ間近でマヌ・サモアを応援しましょう。

○お問い合わせ
スポーツ振興課
東京オリンピック・パラリンピック担当
☎22-7032



覚えてみよう！
サモア語のあいさつ

タロファ
Talofa (こんにちは)

本市のホストタウン

国では、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京二〇二〇大会」）をはじめとする国際大会の開催に向け、スポーツ振興や教育文化の向上、地域活性化などの観点から、大会の参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る自治体の取り組みを支援する「ホストタウン構想」を推進しています。

市では、平成二十七年五月に開催された第七回太平洋・島サミットや、スパリゾートハワイアンズ内への名誉領事館の開設などを通して、サモア独立国との交流を深め、平成二十八年六月にホストタウン相手国として、同国が登録されました。平成二十九年一月には、同国ラグビー協会と本年九月から開催されるラグビー国際大会および東京二〇二〇大会における、事前キャンプを本市で実施することなどについての覚書を締結したほか、多岐に渡る交流事業を展開してきました。

「サモア独立国 対 日本戦」応援パブリック ビューイングを開催

- ▶とき 10月5日(土) 18時30分～
- ▶ところ イオンモールいわき小名浜
- ▶内容 元ラグビー日本代表で東芝ブレイブルーパス所属の大野均選手によるトークショーや、試合の見どころの解説など

サモア独立国ラグビー代表チームの事前キャンプの受け入れのほか、ラグビー国際大会関連事業として、同国が出席する試合のバスツアーやパブリックビューイングなどを実施します。ホストタウン相手国として交流を深めている同国を、市民の皆さんも一緒に応援して盛り上げましょう。※バスツアーの予約受け付けは、終了しました。

ラグビー国際大会 関連事業を実施

サモア独立国との 主な交流事業

平成二十九年には、市内の高校生をサモア独立国へ派遣し、現地の高校生との華道や茶道による文化交流を実施しました。また、市内の小・中学校を対象に、同国の食材にちなんだ給食の提供を開始するなど、相互の文化を理解し合う取り組みを進めてきました。昨年五月には、第八回太平洋・島サミットの開催時期に合わせ、同国の高校生を本市へ招聘し、市内の高校生との七人制ラグビー競技によるスポーツ交流などを実施しました。

本年は、七月に在日サモ



平成29年に実施した高校生の文化交流（上）と、サモア独立国応援給食

ラグビー国際大会に 向けた事前キャンプ

九月十日から十五日まで

ア独立国大使館の特命全権大使が来市し、東日本国際大学で、同国の歴史や文化および本市とのつながりなどをテーマとした公開授業を実施したほか、八月四日から十日まで、湯本高等学校の生徒四人を同国へ派遣し、書道や合唱による文化交流を予定しています。今後、同国とのこれまでの友情や、信頼関係を大切にしなが、本市の国際化や文化・スポーツの進捗につなげるよう、なお一層の友好関係を深めていきます。

サモア独立国を知ろう！



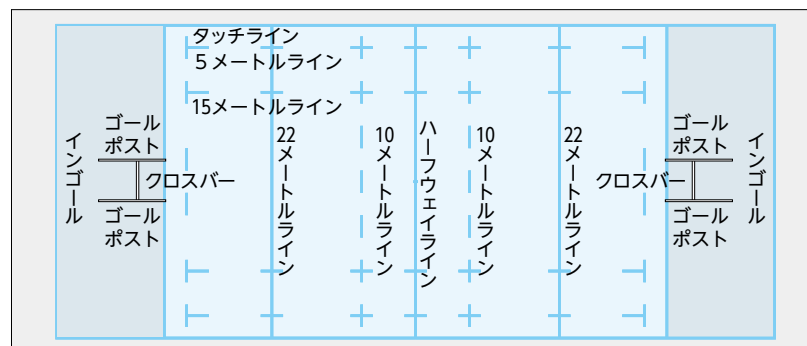
- ▶国名 サモア独立国
- ▶面積 約2,830km²
- ▶人口 約20万人
- ▶首都 アピア

ニュージーランドの北、ハワイ州の南に位置し、本市の2倍以上の面積を有する島国で、年間平均気温が26度から27度と温暖な気候です。ラグビーが盛んに行われており、サモア独立国ラグビー代表チーム（15人制）は「マヌ・サモア」の愛称で親しまれています。マヌは獣の意味で、マヌ・サモアはサモアの獣を意味しています。試合前に伝統的な戦いの踊り「シヴァタウ」を披露することでも有名です。主食はタロイモなどで、刺身を食べる習慣もあります。また、伝統料理のウムは、バナナなどの葉で食材を蒸し焼きにしたものです。

ラグビーのルール・魅力を紹介

ラグビーは、1チーム15人のプレーヤーが相手チームと1つのボールを奪い合い、相手陣地に攻め入るスポーツです。ボールを持っての突破や、キック、パス、押し合いなどにより、陣地を広げつつボールを前進させていくことから、陣取りゲームとも言われています。

相手のインゴールにボールを持ち込み地面につけるトライ（5点）のほか、トライ後に与えられるキック（2点）・相手のペナルティー後のキック（3点）などで、ゴールポストの内側かつクロスバーの上の空間にボールを蹴り入れることにより得点が認められます。



○本市のラグビー関係者にインタビュー



坂本幸司さん（いわき市ラグビーフットボール協会理事）

ラグビーの魅力はなんといっても、大きな体による激しいぶつかり合いと、スピード感あふれる突破です。その中でもサモア独立国ラグビー代表チームの選手は、世界で1番ともいわれる体の強さとスピードを兼ね備えており、とても迫力があるレベルの高いチームなので、ぜひ練習や試合を見てほしいです。

また、同国の選手はとても優しく人柄が良いので、交流・応援のときには、声を掛けてみてください。



の六日間、サモア独立国ラグビー代表チームの選手など四十九人が来市し、いわきグリーンフィールドやわかFCパークなどを会場に、ラグビー国際大会に向けた事前キャンプを実施します。市では、同国ラグビー代表チームが万全の体制で同大会に臨むことができるよう、練習のサポートや選手の生活面での支援・協力など、サポート体制を整えています。また、市民の皆さんが世界トップレベルの選手と触れ合うことができる絶好の機会であることから、同国ラグビー代表チームの練習を見学できる公開練習に合わせ、記念撮影や握手会を行うほか、市内の幼稚園児との文化交流や、市内の小・中学生などを対象としたスポーツ交流も実施します。

○事前キャンプ期間中の主な交流事業

9月
12日(木)

- 幼稚園児との文化交流
9時～9時50分
金刀比羅神社、明德館幼稚園



9月
13日(金)

- 公開練習、市民の皆さんとの記念撮影や握手会
11時～正午 いわきグリーンフィールド

9月
14日(土)

- いわきラグビースクール、勿来少年ラグビースクールに所属する小・中学生などを対象としたスポーツ交流
9時30分～11時15分 いわきFCパーク

※上記の日程以外の練習などは非公開となります。